



夢中になって

中学生硬式野球チーム「千曲ボーイズ」

15日夜、長野市篠ノ井東福寺に立つ大型のパイプハウスの中で、中学生硬式野球チーム「千曲ボーイズ」の選手たちが打撃練習に汗を流していた。トスバツティングのほかにピッチングマシン2台も使い、何度も快音を響かせた。

2010年に発足。長野、千曲、上田市と坂城町の男女37人が所属する。日本少年野球選手権大会に14年夏、16年春と出場し、今年も3月に全国の舞台に挑む。主将の長野市川中島中2
屋内練習場でバツティング練習をする選手たち

野球だけでなく勉強にも力

年、小林慎之介さん(14)は「ベスト8を目指し、まずは初戦を突破したい」と語る。

練習は、月曜から木曜の夜にパイプハウスの屋内練習場で行う。週末は千曲市の2カ所のグラウンドを使い、積極的に練習試合を重ねる。

チームは「学生の本分は勉強」との考えを実践する。平日の練習時間は45分ずつ、3こま。このうち2こまを勉強に充てる。英語と数学の外部講師を雇うなど本格的で、選手はこの日も屋内練習場隣のコンテナハウスで机に向かった。前主将の長野市広徳中3年、緑川朋晃さん(15)は「野球だけでなく勉強も見えてもらえた。高校では甲子園に出場したい」と、感謝を胸に高校での飛躍を誓った。

(水曜日に掲載します)